



令和6年9月30日
10月号 No.464
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川623

読書のすすめ

校長 西村 学徳

今週から運動会特別時間割となり、いよいよ運動会に向けての取組が始まりました。暦の上では、秋となりましたが、残暑が厳しい日々です。熱中症対策を万全にして児童の安全・健康を第一に、教育活動を進めてまいります。

さて、秋といえば「〇〇の秋」というキャッチフレーズをよく耳にします。運動会もあるこの10月、もちろん「スポーツの秋」でもありますが、二小の子供たちには「読書の秋」もぜひ意識してほしいと思っています。

先日、興味深いニュースを目にしました。文化庁が公表した令和5年度「国語に関する世論調査」で「月に1冊も本を読まない人」が6割超えであったことが判明したとの内容でした。この調査で同じ項目が設けられた平成20年以降最も高い割合で、初めて5割を超えたとのことです。大人も子供も読書離れが進んでいることは長らく言われているところではありますが、本校でも昨年度の学校評価アンケートで読書に関する項目は、他の項目と比較しても低い数値となっていました。

- ・保護者：お子さんは、本をよく読んでいる。
…そう思う・だいたいそう思う 40%
- ・児童：よく本を読んでいる。
…そう思う・だいたいそう思う 56%

読書の質や量が学力と関連していることは各種調査等で明らかになっていることであり、私自身担任をしていた頃、読書をよくしている子は、読解力が高く、文章を書く力も優れていた子が多かったと記憶しています。また、何より豊かな心を育てていくために様々な本に触れることは重要であると考えます。そのため、今年度は読書活動の充実をより重視しながら教育活動を進めてきました。

本校はこれまで読書活動の取組として、年3回の読書旬間の設定、PTAの方による親子読書（読み聞かせ）、学校図書館司書との連携、ふっさ電子図書館利用の推奨等を行ってきました。また、今年度は図書室利用の推進を一層図るべく、各教員のお勧め本の紹介コーナーを設け、各教員がオリジナルポップを作成しました。子供たちもポップに興味・関心をもってくれたようで、お勧めの本は貸し出し中であることが多い人気本となっています。9月の全校朝会では、校長よりブックトーク（テーマに沿った本の紹介）を行いました。今回は、「戦争と平和」をテーマに6冊の本を紹介しました。10分弱と短い時間ではありましたが、子供たちはよく聞いてくれました。10月からは全学年で毎日5分の読書の宿題も設けていきます。子供たちが本により親しめるようにご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、私は大人になってから「絵本」を読むことが好きになりました。「ちょっとだけ」「12の贈り物」「おこだでませんように」。ちょっと泣けて、我が子に優しい気持ちになれるおすすめの3冊です。

